

2025年12月13(土) 15:00~17:00 オンライン開催

日本体育・スポーツ経営学会 2025年度研究報告会

# 「日本の経営学が進む道」から考える 体育・スポーツ経営学の未来



体育・スポーツ経営学の発展を目的に設立された本学会は持続可能性という観点からすれば決して楽観視できる状況にはない。複数の関連学会が存在することによる人材の分散、研究テーマの細分化、若手研究者の減少、欧米ジャーナルへの掲載を目指す研究者の増加などの条件が幾重にも重なり、日本というローカルな場に活動拠点を置く学会の存在意義が今まさに問われている。もちろん、学会理事会では「第二期将来計画委員会」を組織化するなど現状打開に向けて歩を進めつつあるが、現状の何が問題なのか、問題がなぜ生じているのかといった基本的な事項について、情報共有と会員相互の意見交換の場が必要である。

もっとも、上述のような状況は必ずしも本学会固有の現象ではない。とりわけ、同じく社会科学領域に位置する経営学とその諸分科も同様の問題を抱えており、長年にわたり機関誌や公開討論の場で議論を展開してきている。さらに、近年では「世界標準の経営学」を目指そうとする国内の潮流もあってか、日本の経営学が進む道やそれを支える学会の存在意義・役割をより鋭く問う動きがみられる。そうした隣接分野で蓄積されてきた議論は、本学会の未来を構想する上でも貴重な知見となるはずである。我々が優先的に考え、取り組むべき学会と学問の課題とは一体何なのだろうか。

そこで本年度の研究報告会では、まず、研究・国際委員会より各種データに基づき本学会・学問の多様な問題を共有する。次に、経営学分野において学会と学問のあり方を第一線で考究されてきた上林憲雄氏（神戸大学教授）を招き、日本の経営学および学問的発展を推進する学会が抱える課題や今後の方向性についてご講演をいただく。これらを通じて、本学会の未来を考える必要性を再認識し、今後の取り組みについて本格的な検討を進める契機としたい。

## ■趣旨説明・問題提起

林田 敏裕（東京学芸大学 講師/研究・国際委員会）

## ■講演：「日本の経営学が進む道—その軌跡と展望—」

上林 憲雄（神戸大学 教授）

※本講演関連論文：「日本の経営学が進む道」（日本経営学会誌, 2021）

## ＜WEB参加申込み＞※参加費無料

<https://forms.gle/Dy4kLy4AQAOykk2e6>

【締切日】12月10日（水）迄

QRコードから  
申し込み可▼



問い合わせ先 日本体育・スポーツ経営学会 研究・国際委員会  
E-mail: jamps.office@gmail.com